

ホームページによる広報・公表の現状と改善の方向（案）

資料3

現 状			改 善 の 方 向		
掲 載 内 容	対 象 者	主な目的、提供方法	想定する主たるユーザー	改善の考え方	改 善 の 内 容
<p>現行のホームページにおいて掲載しているコンテンツは、特定のユーザにしかばったコンテンツとなっていない</p>				<p>コンテンツごとに、対象とするユーザーを特定して作成を行う</p>	
<p>【ホームページ全般に関する事項】</p>				<p>コンテンツの充実</p>	<p>公表資料の関連情報として、災害に関する被害写真等をビジュアルに取りまとめたページを開設</p> <p>統計月報の掲載</p> <p>統計結果をコンパクトに取りまとめた「コンパクト統計」の掲載</p>
				<p>利用者の利便性の向上を図る</p>	<p>農林水産省内他部局や関係機関、団体等のページとの相互リンクを拡充する</p>
				<p>利用者の利用実態の把握や、問い合わせ時等に出されたユーザーからの意見等を基に、ユーザーインターフェースの改善を図る</p>	<p>詳細なアクセスログ解析を実施し、利用実態を踏まえたメニューの最適な配置等を行う</p> <p>農林水産省ホームページ満足度調査（2004年）結果の活用によるユーザーインターフェース等の更なる改善</p> <p>問い合わせ等のメールボックスの設置</p>
<p>最近公表した統計</p> <hr/> <p>農林水産統計データ 過年次の第1報を掲載 分野別、品目別分類による第1報を掲載</p> <p>公表予定については、年間公表予定（分野別、月・旬別）及び週間公表予定（日別）をホームページ上に掲載</p> <p>平成16年度アケ入数 約494万件</p>	<p>国民全般</p>	<p>掲載内容は、紙による公表と同じ内容</p> <p>掲載している形態は、3タイプのファイル形式により掲載(PDF、Excelはダウンロードが可能)</p> <ul style="list-style-type: none"> 速報全体 PDF形式 概要 HTML形式 統計表 Excel形式 <p>農林水産省ホームページ（英語版）で提供</p> <p>平成16年度アケ入数 約15万件</p>	<p>農林水産業への興味や一定程度の知見を有している者</p>	<p>必要とする統計データを確実に見つけ出せるように改善する</p> <p>コンテンツメニューの最適な配置を通して利用者（リピーター）の確保を図る</p> <p>利用者の利便性の向上を図る</p> <p>英語版統計データ掲載の早期化を図る</p>	<p>平成17年4月のホームページリニューアル時に、メニューや分類方法などユーザーインターフェースの改善を実施したが、引き続き見直しを行う</p> <p>社会的に関心の高い事項を取り上げた調査結果（例えば、食品ロス調査や農産物地産地消費実態調査、食品産業におけるトレーサビリティの実施状況など）や、新規調査については、メニュー上位への掲載や、関連ページからのリンクを増やすなどの改善を実施</p> <p>新着情報（統計部ホームページ）には、数行のサマリーを付記する</p> <p>掲載する資料等の関連するページへリンクする</p> <p>農林水産省内他部局や関係機関、団体等のページとの相互リンクを拡充する</p> <p>農林水産統計表（年報）等における英語表記の活用などにより提供を図る</p>
<p>農畜産物市況等</p>		<p>日別・旬別の青果物と畜産物の卸売情報を掲載</p>			
<p>海外の統計情報</p>		<p>国際部作成の輸出入情報等のデータを掲載</p>			
<p>農林業センサス</p>	<p>主に地方公共団体</p>	<p>センサス調査の概要や過去の調査結果等を掲載</p>		<p>コンテンツの充実</p>	<p>統計調査結果を用いた分析や、調査結果を分かりやすく解説したページを新設する</p>

ホームページによる広報・公表の現状と改善の方向（案）

現 状			改 善 の 方 向		
掲 載 内 容	対 象 者	主な目的、 提供方法	想定する主たる ユーザー	改善の考え方	改 善 の 内 容
<p>統計部ホームページ</p> <p>各種統計データ 「統計」内の各メニューの案内(リンク) 統計組織が刊行した統計書、分析書を 紹介</p> <p>統計部紹介 各課室の業務内容等</p> <p>お知らせ 広報誌かけ橋を紹介 著作権や免責事項など</p> <p>リンク 地方組織や総務省統計局などへのリンク</p> <p>新着情報 直前に公表した第1報を紹介(PDFファイルへリンク)</p> <p>更新履歴 総合データベースにおけるデータ蓄積状況 等を紹介</p> <p>平成16年度アクセス数 約119万件</p>	国民全般	<p>調査結果だけでなく、 統計書、分析書の紹介、 統計部からのお知らせな ど、統計部において実施 している事業について紹 介することを通して統計 調査への理解や、協力を 得ることを目的とする</p>		ホームページの構造 の改善に合わせてメニ ューを整理する	統計部の業務紹介や統計部からのお知らせ、各コンテンツへのスムーズな接続(ポータル サイトとしての役割)などを掲載したページに更新する
<p>わがマチ・わがムラ - 市町村の姿 -</p> <p>主な掲載データ 「経済編」 ・土地面積、人口・世帯数、市町村財 政、事業所数等</p> <p>「農業編」 ・農家数、農家人口、耕地面積、農業 産出額、農産物作付面積、収穫量等</p> <p>「林業編」 ・林野面積、林家数、樹林地面積等</p> <p>「水産業編」 ・漁業世帯数、就業者数、漁獲量等</p> <p>平成16年度アクセス数 約250万件</p>	主に地方公共団体、 農林水産関係団体・ 業界団体、生産者	<p>平成14年4月から農林 水産省の統計データのほ か他府省の統計データ を利用して、都道府県や市 町村ごとの農林水産業の 状況、地理的状況、社会 的状況等を統計データと グラフ等を用いて分かり やすくまとめるとともに 都道府県や市町村の農林 水産業の特徴を文字情報 より収録し、提供してい る</p> <p>総務省の「統計データ ・ポータルサイト」や、 「局、統計・情報センタ ーホームページ」からリ ンクされている</p>	地方公共団体、 農林水産関係団 体・業界団体、 生産者	<p>利用者に見やすい表 現内容に改善する</p>	<p>「経済編」、「農業編」、「林業編」、「水産編」のスタイルが画一的で使いにくいことから、そ れぞれごとにスタイルを見直す</p> <p>現在使用している円グラフの表現方法を見直す</p>
			市町村の特徴が分か る内容を掲載する	<p>現在掲載していないデータのうち市町村の特徴を示すデータを追加する 例えば、 ・特定野菜等についても面積や生産量が多いものは掲載するなど(現行は指定野菜のみの 掲載)</p> <p>各市町村の特徴が一目で分かるような情報を掲載した「概要編」を追加する 例えば、 ・農業センサス結果を用い、高齢化率や農家減少率の変動を都道府県内の市町村を一括し て相関図で表示(自市町村の位置は色を変える) ・農業産出額の合計値を用い、都道府県内に占める額を棒グラフで表示 また、全国・都道府県における順位を表示 など</p>	
			リピーターとしての 利用者を確保するため、 利便性の向上を図る	<p>該当品目の過年次データを検索できるように、統計情報データベースへリンクする</p> <p>該当品目の全国結果を検索できるように、農林水産統計データの該当の品目別分類へリンク する</p> <p>市町村のホームページへリンクする</p> <p>利用者が冊子やポスターとして利用できるように、PDF等により提供する</p>	
			地方公共団体	<p>農政改革の推進に伴 う地域の基本計画の策 定等に対して、農林水 産統計データの施策的 利用の拡大に対応する</p>	<p>利用者自らがデータの加工ができる機能を追加することを検討 例えば、 ・利用者が市町村別の農林水産統計データを任意で選択し、表やグラフ等に加工して出力で きる ・利用者が選択したデータのリンク先処理や統計的分析手法による将来予測等を行い、その結 果を出力できる</p>

ホームページによる広報・公表の現状と改善の方向（案）

現 状			改 善 の 方 向		
掲 載 内 容	対 象 者	主な目的、 提供方法	想定する主たる ユーザー	改善の考え方	改 善 の 内 容
グラフと絵で見る食料・農業 - 統計ダイジェスト - 農産物、畜産物及び水産物の品目を以下のとおり分類し、生産、流通、消費に関する統計データのほか伝統食、現地での取り組み事例、一口メモとなる関連情報を掲載 「米」 「果物」(みかん、りんご、ぶどうなど) 「野菜」(だいこん、はくさい、キャベツなど) 「麦」 「そば」 「畜産物」(牛肉、豚肉、鶏肉など) 「花」(きく、カーネーション、ばらなど) 「魚」(まぐろ、かつお、いわしなど) 8分類44品目 平成16年度アクセス数 約18万件	当初は主に児童・生徒・学生、教育機関を想定 その後、「米」編の掲載が新聞(日農)や政府広報で紹介されたことから、国民全般へ波及	平成14年4月からグラフやイラストを多用し、ビジュアルな表示により、親しみやすく加工した統計情報を提供することを目的に統計データに関連情報を付加して、提供している 農林水産省ホームページのトップページの「食料自給率の部屋」、「子供のためのコーナー」からリンクされている	児童・生徒・学生、教育機関	表現や説明は、小学校高学年の学習内容に合わせた内容に改善する	読みにくい漢字にはルビをふる等、表現方法を改善する 専門用語の使用は極力減らす なお、使用する場合は「農林水産関係用語集の統計専門用語」のコーナーへリンクさせる また、「農林水産関係用語集の統計専門用語」も分かりやすい言葉を使用するように改善する
			「食」に興味を持つ者など	掲載品目の充実を図る	きのこ類や木材等の林業関係の品目を掲載し、農林水産業全体を網羅する 政策的に重要な品目等を取り入れる
				品目ごとの特徴が分かる内容を掲載する	品目データの地域間比較を行うことで、生産状況や経営状況を明確にする 現状は、生産、流通、消費のデータをそれぞれ別個に掲載し、その結果について説明しているのみで、他との因果関係が分かりづらい そこで、それぞれの関連付けができるものについて分析を行い解説に付加する
				リピーターとしての利用者を確保するため、利便性の向上を図る	利用者が冊子やポスターとして利用できるように、PDF等により提供する グラフ等を作成した統計データのほか、関連する統計データについて、詳細が分かるように、農林水産統計情報総合データベースや農林水産統計データの関連ページへリンクする 各品目に関する最新の施策情報や研究調査等の事例ページへリンクする
農林水産省メールマガジン 政策情報や予算内容等について紹介 統計関係としては、統計調査結果の概要とホームページへのリンク	農林水産省メールマガジン登録読者 約2万人 (17年4月現在)	登録ユーザーに対し、米の作柄、食品ロス調査結果、地産地消調査結果など国民の関心の高い調査結果について 概要等を配信(不定期)		積極的に広報を行うという観点から、統計データに特化したメールマガジンの発信を検討	統計調査結果について、定期的に配信を行う「農林水産統計メールマガジン」を発信する 掲載内容は、第1報(速報)の概要や、農林水産統計情報総合データベースへ蓄積した報告書名、統計書の刊行情報などを予定